

2009 年度第2四半期決算説明会 質疑応答

Q WOWOWコミュニケーションズのグループ外からの売上が減少したことにより、連結の売上高が前年に比べ減少しているという説明ですが、通信業など特定の業種の影響はありますか？
また、今後の見通しはいかがですか？

A 特定の業種が落ち込んだということではありませんが、特にスポットでの受注が景気の影響により落ち込んでいます。また、継続的にお取引のある企業様でも、受付時間の短縮などにより売上減に影響しています。テレマーケティング業界全体が落ち込んでいるように感じています。

今後の見通しについてですが、同社の経営姿勢として、「量」よりも「質」を重視しています。放送のコールセンター業で培ったお客様との対応など、質の高いノウハウを“売り”に、受注件数の増よりも、理解を得られる取引先とのビジネス展開によってブランドを醸成していきたいと考えています。

一方で、新たな顧客管理システムの稼働などにより、業務の効率化を引き続き実行しています。また、3つのコールセンター(横浜、沖縄、札幌)の効率的運用などによりコスト削減も行っています。

Q 2011 年 10 月以降のチャンネルプランの中の一つの映画専門チャンネルについては、ファーストラン(※)の本数を増やすということでしたが、どのような作品を増やされるのですか？

A まずは邦画の充実を図りたいと思っています。さらには、編成枠の関係などで多くを放送できなかったヨーロッパ映画の拡充にも着手していきたいと考えています。

※ファーストラン：WOWOWで初めて放送する作品のこと

Q 「スカパー！HD」の伸張による影響はありますか？

A 基本的なトレンドとして、放送のデジタル化が進む中でハイビジョン化が進展するのは当然の流れと考えています。同社がハイビジョン化を進めることで、当社にとって大きな影響はないと考えています。現在すでに「スカパー！」でWOWOWの放送を行っていますが、今後は、CSでのハイビジョン化を検討していきたいと考えています。

Q

第2四半期の実績を踏まえて、加入、収支ともに9月25日公表の業績予想を変えないということであれば、下期に相当のコストをかけることが予想されますが、どのようなことにコストをかけられるのですか？

A

前期は上期に「UEFA EURO 2008™ サッカー欧州選手権」等、ビッグイベントが集中したため番組費などが上期偏重となりました。しかし、当期はオリジナルイベント「WOW FES！」や、オリジナルコンテンツなどの強化を下期に集中させているため、例年通り番組費などが下期偏重の費用投下となります。

Q

2010年7月には、アナログ放送停波まで残り1年となりますが、その時点でデジタル加入者の比率はどのくらいになると想定していますか？

A

具体的な比率の提示は差し控えたいと思いますが、2009年8月にアナログ加入者がデジタルに変更する場合の移行特典を強化するなど、デジタル加入者の比率を上げる施策を進めています。また、「スカパー！HD」でWOWOWがハイビジョンサービスを提供することになれば、さらにデジタル加入者の比率が一気に上がると考えています。

以上